

## 九州の復興支援に呼応、6月6日・7日 旅行会社企画担当者が熊本・大分を現地視察実施しました ～広域交通情報配信を強く希望～ 応援ロゴも作成しました

### 旅で応援



一般社団法人日本旅行業協会（本部：東京都千代田区、会長：田川博己 以下JATA）は、国による、熊本をはじめとする、九州への復興支援に呼応して、国内旅行推進委員会の池田副委員長（株式会社JTB 首都圏：代表取締役社長）を団長とし、旅行会社の企画担当者など15名が6月6日（月）・7日（火）に下記のとおり現地視察を実施しました。

2日間とも、活発な意見交換が実施され、JATA側、現地側共に今後と、観光復興についてのファーストステップになりました。

また、JATAでは、「旅で応援、行こうよ！九州」のロゴを作成、会員会社のパンフレット等で九州旅行の喚起をして参ります。

\*データ転記可能です。下記からダウンロードください。

[http://www.jata-net.or.jp/kyushu\\_logo.zip](http://www.jata-net.or.jp/kyushu_logo.zip)

#### 1. 日程：

6月6日（月）

熊本空港=====南阿蘇周辺視察=====内牧温泉

★阿蘇プラザホテルにて熊本県関係観光協会等と意見交換

6月7日（火）

阿蘇プラザホテル=====黒川温泉周辺視察=====由布院（昼食）=====大分空港

★由布院温泉旅館組合にて観光協会等と意見交換会

#### 2. 参加旅行会社

12社+JATA 合計15名 各社、部長～管理職が中心です

(団長社以外、社名五十音順)

JTB首都圏（団長：池田浩社長）、ANAセールス、KNT-CTホールディングス、京王観光、ジェイティービー（本社）、JTB国内旅行企画、ジャルパック、西鉄旅行、日通旅行、日本旅行、農協観光、阪急交通社、日本旅行業協会（3名）

#### 3. 熊本県、主な意見交換会参加メンバー（順不同）

<熊本県> 15組織 19名

熊本県商工観光労働部（代表：観光経済交流局 局長 中川誠氏）、

熊本県観光連盟、阿蘇市、南小国町、小国町、小国町、産山村、高森町、

南阿蘇村、南小国町観光協会、小国ツーリズム協会、黒川温泉観光旅館協同組合、産山村観光協会、高森町観光協会、みなみあそ村観光協会、阿蘇地域振興デザインセンター、阿蘇市観光協会

#### 4. 大分県、主な意見交換会参加メンバー（順不同）

<湯布院> 7名

由布院温泉旅館組合（代表：組合長 日野豊文氏）、湯布院温泉観光協会（代表：協会長 桑野和泉氏）

#### 5. 見交換会で出た主な意見

##### ①自治体側から

- ・痛んでいないで元気なところ、痛んでいてもすぐに立ち直って駆け出そうと頑張っているところ、そういったところを全国の皆さんに情報発信をして欲しい。
- ・「旅で応援」これが一番のカンフル剤。それによって地域が元気になる。
- ・実際に現地を見ていただくことは非常に大事。クチコミで正しい状況を伝えて欲しい。
- ・黒川・由布院のコラボ企画を検討中。旅行会社も支援をお願いしたい。

##### ②旅行会社から

- ・道路が通行できないと考えていたが、大幅な迂回が必要としない事がわかった。
- ・最新道路（迂回路）情報を、一元化して発信してほしい。
- ・九州へのゲートウェイである、福岡をはじめ、九州各地から熊本・大分への交通情報が必要。
- ・直近の送客は当然であるが、10年20年と長いスパンで支援をしたい。
- ・単独の地域や温泉だけでなく、広域が連携し、迂回路を利用した観光モデルルートをHP等でアピールしてほしい。

##### 【JATAからの要望】

九州へのパッケージ旅行は、JR又は航空+宿泊がセットになった、レンタカーのフリープラン利用のお客が多くを占めます。例えば、九州のゲートウェイである福岡→熊本・大分の主要観光地を観光しながらドライブしようとしています。HP等で検索すると、自治体等が様々な情報を掲載されていますが、自治体HPへのリンクのみが多く、地元の方には理解できない表記方法が目立ちます。前の観光地からの移動ルートや所要時間の検索は出来ません。今回の視察で、実際に現地を見て・走ってみると多くの区間は、観光バスを含みドライブには、支障は少ない事が、プロ（旅行会社）の立場からわかりました。広域交通情報サイトが稼動すれば、全国のお客が直接検索することにより、九州域内への旅行を計画「安心」して可能となります。旅行会社においても、店頭でお客様への情報提供に活用する以外にも、修学旅行やインバウンドツアー等の貸切バス利用の団体旅行の行程管理や今後の企画に活用が可能となります。九州内の広域観光客を対象とした、交通情報サイトの稼動を熊本や大分県関係者に強く要望しました。

#### <参考> 視察の様子（転載可能）

左：熊本県意見交換会、中央：大分県意見交換会。多くのマスコミ取材があり、地元の観光復興に対する意識の高さがわかります。右：バス車内からの視察。

